

2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年8月11日

上場会社名 株式会社 セレスポ
 コード番号 9625 URL <http://www.cerespo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲葉 利彦
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート本部経理部長 (氏名) 久保田 裕
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5974-1111

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	490	80.5	754		654		462	
2020年3月期第1四半期	2,515	1.2	66		61		48	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	83.72	
2020年3月期第1四半期	8.85	

注) 当社は、2020年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	7,664	5,172	67.5	936.41
2020年3月期	8,987	5,797	64.5	1,049.59

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 5,172百万円 2020年3月期 5,797百万円

注) 当社は、2020年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		60.00	60.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

注) 1. 当社は、2020年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。なお、2020年3月期以前につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

注) 2. 2021年3月期の配当予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大等の影響により、今後のイベントの実施を見通し、適正かつ合理的な業績予想の算出が困難な状況から未定としております。今後、業績予想を公表する時点で合わせて公表いたします。

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大等の影響により、今後のイベントの実施を見通し、適正かつ合理的な業績予想の算出が困難な状況から未定としており、今後、適正かつ合理的な業績予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	5,703,500 株	2020年3月期	5,703,500 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	179,524 株	2020年3月期	179,524 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	5,523,976 株	2020年3月期1Q	5,500,610 株

当社は、2020年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(2)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 財政状態及び経営成績に関する説明.....	2
(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期貸借対照表.....	4
(2) 四半期損益計算書（第1四半期累計期間）.....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項.....	6
(継続企業の前提に関する注記）.....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）.....	6
(追加情報）.....	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 財政状態及び経営成績に関する説明

①経営成績

当社は2018年4月にスタートした「中期経営計画Ⅳ」に基づき、収益性の向上に向けて取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大等による緊急事態宣言及びイベントの開催制限の発出を受け、多くのイベントの開催が自粛されました。

売上高につきましては、案件数が減少し、単価も低下しました。その結果、2,024百万円の減収となりました。

費用につきましては、外注費の減少等に伴い、売上原価が1,221百万円減少しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は下記の通りとなりました。

売上高	490百万円（前年同期の売上高は2,515百万円）
営業損失	754百万円（前年同期の営業損失は66百万円）
経常損失	654百万円（前年同期の経常損失は61百万円）
四半期純損失	462百万円（前年同期の四半期純損失は48百万円）

当社としては、引き続き中期経営計画Ⅳに掲げた「継続企業の確立」のため、①経営理念の実践、②企業力の増強、③イベント・ソリューション・パートナーの実現に取り組んでまいります。

各部門別の状況は次のとおりであります。

〔基本事業部門〕

前述の新型コロナウイルスの感染拡大等による影響を受けた結果、売上高は419百万円と前年同期比78.9%の減収となりました。

（注）基本事業部門におけるスポーツとは、スポーツ事業部門が担当する領域以外のスポーツイベント（地方自治体や民間企業などからの受託）を意味しております。

〔スポーツ事業部門〕

前述の新型コロナウイルスの感染拡大等による影響を受けた結果、売上高は70百万円と前年同期比83.0%の減収となりました。

〔競争事業部門〕

前述の新型コロナウイルスの感染拡大等による影響を受けた結果、売上高は0百万円と前年同期比99.5%の減収となりました。

部門別の売上高の明細は次表のとおりであります。

(単位：百万円)

部 門	売 上 高	構 成 比	前 期 比 増 減	主 要 領 域
基本事業	419	85.6%	△1,566 (△78.9%)	各営業拠点が担当する、様々なイベント領域
スポーツ事業	70	14.3%	△343 (△83.0%)	中央競技団体等が開催するスポーツ・競技に関するイベント領域
競争事業	0	0.1%	△115 (△99.5%)	皇室ご臨席事業を中心とした全国持ち回りで開催されるイベント領域
合 計	490	100.0%	△2,024 (△80.5%)	

②財政状態

(資 産)

当第1四半期会計期間末の総資産は前事業年度末に比べて1,322百万円減少し、7,664百万円となりました。これは主に現金及び預金が896百万円、受取手形及び売掛金が776百万円減少したことによるものであります。

(負 債)

当第1四半期会計期間末の負債は前事業年度末に比べて697百万円減少し、2,491百万円となりました。これは主に短期借入金が500百万円増加したものの、買掛金が235百万円、未払法人税等が418百万円、流動負債その他に含まれる未払金が482百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は前事業年度末に比べて625百万円減少し、5,172百万円となりました。これは主に利益剰余金が628百万円減少したことによるものであります。

(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、政府関連当局の要請が行われ、多くの国民が外出を控える状況が続いております。

このような状況により、今後のイベントの実施を見通し、適正かつ合理的な業績予想の算出が困難な状況であります。このため、業績予想を未定としております。

今後、適正かつ合理的な業績予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,724,040	1,827,668
受取手形及び売掛金	1,126,901	350,614
原材料及び貯蔵品	38,181	37,067
未成請負契約支出金	442,835	499,491
その他	147,455	244,917
貸倒引当金	△5,112	△1,613
流動資産合計	4,474,301	2,958,144
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	297,636	293,403
土地	3,310,250	3,310,250
その他(純額)	54,745	58,356
有形固定資産合計	3,662,633	3,662,010
無形固定資産	205,413	192,549
投資その他の資産		
その他	715,940	923,190
貸倒引当金	△71,127	△71,617
投資その他の資産合計	644,813	851,573
固定資産合計	4,512,859	4,706,133
資産合計	8,987,161	7,664,278
負債の部		
流動負債		
買掛金	360,210	124,364
短期借入金	600,000	1,100,000
未払法人税等	429,191	10,499
賞与引当金	301,924	301,924
その他	1,105,674	581,487
流動負債合計	2,797,001	2,118,276
固定負債		
長期借入金	150,000	131,250
退職給付引当金	87,284	88,321
資産除去債務	34,620	34,636
その他	120,359	119,086
固定負債合計	392,263	373,294
負債合計	3,189,265	2,491,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,370,675	1,370,675
資本剰余金	2,176,187	2,176,187
利益剰余金	2,311,216	1,683,056
自己株式	△51,769	△51,769
株主資本合計	5,806,310	5,178,150
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,413	△5,442
評価・換算差額等合計	△8,413	△5,442
純資産合計	5,797,896	5,172,707
負債純資産合計	8,987,161	7,664,278

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,515,340	490,364
売上原価	1,734,140	512,936
売上総利益又は売上総損失(△)	781,200	△22,572
販売費及び一般管理費	847,548	731,460
営業損失(△)	△66,347	△754,032
営業外収益		
受取配当金	2,676	1,429
保険解約返戻金	1,684	—
雇用調整助成金	—	98,097
その他	1,390	1,095
営業外収益合計	5,751	100,622
営業外費用		
支払利息	467	528
貸倒引当金繰入額	—	550
営業外費用合計	467	1,078
経常損失(△)	△61,062	△654,488
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2,000
特別損失合計	—	2,000
税引前四半期純損失(△)	△61,062	△656,488
法人税、住民税及び事業税	6,329	6,050
法人税等調整額	△18,690	△200,098
法人税等合計	△12,361	△194,048
四半期純損失(△)	△48,701	△462,440

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大等により、多くのイベントの開催が自粛されています。また、政府関連当局の要請が行われ、多くの国民が外出を控える状況が続いており、収束時期等を予想することは困難な状況にあります。

当該影響により、2021年3月期においてはイベントの開催数が減少するという一定の仮定をおき、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の判定・評価といった会計上の見積りを行っております。